

## 住吉小学校の校章について(参考資料 創校100周年記念誌)

本校は、創校133年になる歴史と伝統のある小学校である。富山県下新川郡下中島国民学校から、昭和27年4月1日に魚津区域12か町村の合併によって魚津市になり、魚津市立下中島小学校と改称した。その後、昭和29年10月1日、魚津市立住吉小学校と改称した。



下中島国民学校の校章

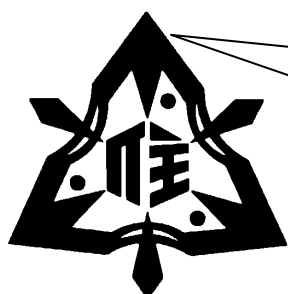


魚津市立住吉小学校の校章

昭和40年10月3日、住吉小学校の新しい校旗や校章が制定された。

校章は、上記の下中島国民学校の校旗を基に、吉田一雄校長(昭和40年4月～42年3月在職)が図案化されたようです。

校章の意味は、定かではないが、右記のとおりと推測される。



下 篆書では 𠂔 になる。

中 篆書では 𠂔 になる。

下中 下中 下中の3文字で外側をつないでいる。  
その中央に「住」住吉地区の地名を入れた。

下中島国民学校から住吉小学校に変わったが、下中島の地域の学校として引き継がれてきた。

新しい「住吉」という地名に建てられた学校は、下中島の地域の学校として育てていこうとする地域住民の気構えが伝わってくる。

下中島地区の中央部に位置する(あるいは、人の集まるところを含めているかも)我らの学校という気持ちが伝わってくる。

その後、この校章で、校旗と優勝旗が作成されている。

尚、この校章は、学校要覧に、昭和42年度から44年度まで表紙に表記されている。

現在は、住吉小学校の教育指導計画、住吉の教育(学校要覧)に記載している。

### 校歌について

校歌は校舎がほぼ整えられた昭和30年9月、住吉小学校校歌が作詞広瀬新作校長、作曲舛崎宗雄教諭によって作られた。(下中島百年の教育 創校100周年記念誌 記載内容)

昭和31年卒業生の父兄一同の労力奉仕によって、国旗掲揚塔が寄付され、国連加入のでもあり、独立日本の日の丸を高々と掲げて、喜びを俱にした。